

豊中・サンマテオ姉妹都市
提携ニュース2013



50th
Anniversary
2013



<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/>



<http://www.cityofsanmateo.org/>

豊中・サンマテオ姉妹都市協会
Sister City Association of Toyonaka-San Mateo

第43号

History



姉妹都市提携 50年の あゆみ



1963年10月 姉妹都市提携



産経新聞大阪本社提供

豊中市とサンマテオ市は1963年10月8日に姉妹都市として提携してから50年間、スポーツ友情と信頼関係を築いてきました。一部ではございますが、これまでの

交流のあゆみをご紹介します。



1964年5月
藤戸市長がサンマテオ市を訪問。



1964年10月
豊中・サンマテオ姉妹都市協会設立。

1971年7月
ベレスフォード小学校女子バレーボールチーム来豊。



1972年11月
第1回高校生英語弁論大会

1965年4月
サンマテオ市寄贈のエル・カミノ・リール・ベルが到着。



1973年10月
姉妹都市提携10周年記念訪問団来豊。

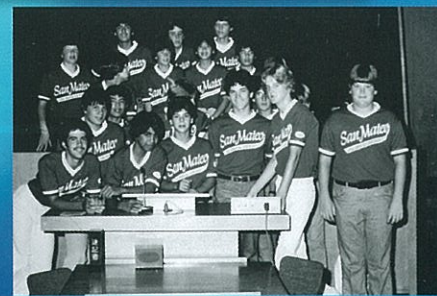
1979年7月
豊中市少年野球チームがサンマテオ市を初めて訪問。

1977年4月
日本語図書1,700冊をサンマテオ市へ寄贈。

同年11月
広石姉妹都市協会会長を団長とする訪問団36人がサンマテオ市を訪問。

同年8月
サンマテオ市から図書756冊が寄贈される。

1981年8月
サンマテオ市の少年野球チームが来豊。



姉妹都市提携 あゆみ



2012年6月～2013年2月
パネル展「姉妹都市提携50年のあゆみ」開催。

2013年8月
國貞眞司姉妹都市協会会長をはじめとする姉妹都市提携50周年記念訪問団がサンマテオ市を訪問。(予定)

同年10月
姉妹都市提携50周年記念パネル展の開催。(予定)

2011年8月
サンマテオ市少年野球チームとサンマテオ姉妹都市協会関係者が来訪。



2012年1月
第40回高校生英語弁論大会開催。

1993年8月
姉妹都市協会・豊中商工会議所からなる訪問団が姉妹都市提携30周年記念式典に参加。

1999年8月
豊中・サンマテオ姉妹都市協会設立35周年を記念して、サンマテオ市長、サンマテオ市親善訪問団ならびに少年野球チームが来豊。



1988年10月
姉妹都市提携25周年記念式典を豊中市で開催。サンマテオ市長以下34人が来豊。

1983年7月
姉妹都市提携20周年訪問団がサンマテオ市を訪問。

1986年7月
サンマテオ市ジャズダンスチームが来豊。





サンマテオ市 訪問レポート

2012年8月16日～8月23日にかけて、「第40回高校生英語弁論大会」で豊中市長賞を受賞した山本 悠馬さんとサンマテオ市長賞を受賞した上田 紗有佳さんを親善使節としてサンマテオ市へ派遣しました。
お二人はホームステイを体験しながら、現地の人とのふれあいや文化の違いなど、様々な経験から刺激を受けて帰ってこられました。

豊中市長賞 山本 悠馬さん



私は親善使節として派遣していただき、本当にたくさんの経験をすることが出来ました。私にとって今回が初めての渡米で、出発前は不安で一杯でしたが、空港でホストファミリーが笑顔で迎えてくれたことで全て吹き飛びました。家に向かう途中、彼らが「好きなゲームは何？」と聞いてくれたりして会話ができたことが嬉しかったです。事前に親善使節の先輩方から、日本食を作るととても喜ばれると聞いていたので、簡単に作れるちらし寿司の素と松茸のお吸い物を持って行きました。ホストファミリーはとても気に入ってくれたようで、食べ終わるやいなや「これを買に行こう!!」とスーパーに引っ張っていかれました。

こうして私の米国滞在はスタートしましたが、多くの貴重な体験の中で一番印象に残っていることは、ホストシスターが通っているアラゴン高校に一日授業体験に行ったことです。数学の教科書には、日本の朝のラッシュ時の光景で、駅員が乗客を電車へと押ししている写真が載っていて、先生は私に、「Is this picture true?」と質問しました。「毎朝駅で見る光景です」と答えると、クラス全員が驚きの声をあげました。生活様式の違いで、一方では普通の光景が他方ではありえない光景に映るのだと感じました。日本語の授業では、「日本の話をしてほしい」と言われたので、英語で豊中のことや大阪の食文化などを話しました。生徒達は真剣に話を聞いてくれたので、とても嬉しかったです。また、先生が日本を意識して、プラスチック製のおもちゃの刀を指し棒として使っていたことにユーモアを感じ、面白く思いました。

今回の派遣を通じて感じたことが大きく2つあります。まず1つめは、生徒が自分の意見を持ち、自信を持って発表していることです。「何か意見がある人」という質問に、次から次に手が挙がっていました。小さい時からこのような教育を受けている彼らは、成長するにつれ自らの意見や考えを発表する力が自然に身についているのだと確信しました。何故アメリカ人が日本人よりこのような能力が高いのだろうかという疑問に思っていたのですが、実際に行ってその理由を実感できました。

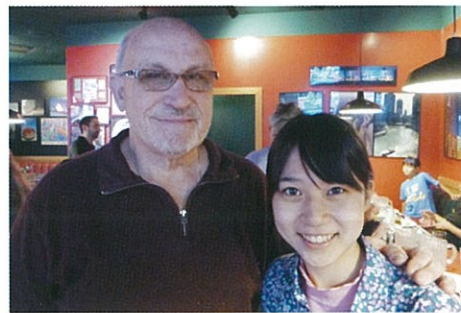
2つめは、英語という道具の必要性です。私が参加したクラスには、さまざまな人種の生徒がいました。彼らは、英語という共通言語で当然のように話をしていました。このような光景を見て、私は世界の縮図を見ているような気がしました。英語は人種や国籍に関係なくコミュニケーションを取ることができる道具だと実感し、更に、使いこなせるようになる必要性を強く感じました。現地の高校での体験は、私にとって将来もっと知識を深めるための理由付けになるのに十分過ぎるほどの経験でしたし、7日間という短い期間でしたが、とても有意義だったと思います。

サンマテオ市でのいろいろな体験をする機会を設けていただいた豊中市や姉妹都市協会の方々、お世話をいただいたホストファミリーをはじめとする今回出会った全ての方々に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

サンマテオ市長賞 上田 紗有佳さん

私は2012年8月に親善使節としてアメリカへ派遣されました。

私にとっては、2回目のアメリカ訪問でしたが、前回とは違う状況だったので、わくわくしながら行きました。サンマテオはとても気候がいいところで、過ごしやすかったです。蒸し暑い日本から出てサンフランシスコ空港に降りた時は涼しくて天気も良かったので、ここで一週間過ごすのだと思うと胸が高鳴りました。



アメリカでは毎日ホストファミリーがいろいろなところへ連れて行ってくれ、私のわがままもたくさん聞いてくれました。サンフランシスコで買い物をしたり、スタンフォード大学へ行ったり、生まれて初めてサーフィンもしました。その中でも一番印象に残っていることは、ケーブルカーに乗ったことです。手すりにつかまりながら立ってサンフランシスコの坂を上ったり下りたりするのは本当に楽しくて、何度も乗りたくなりました。

私がこの派遣で大切にしたかったのは人との出会いでした。現地では協会の方やホストファミリーをはじめとしてたくさんの方とお会いしましたが、どの方もとて親切で嬉しかったです。その気持ちに伝えられるように、自分からたくさんの方と話すことにしました。私が日本から来たと言うと、「日本のどこから?」と聞いてくれて、「ここは行くべきだよ」と人気のお店を教えてくださいました。

そして、このようなやりとりの中から新しい英会話表現を学ぶことができたのは大きな収穫でした。しかし、意見を求められ、上手く答えられなかった時には、もどかしい思いをしました。現地の高校に行った時に持った、「自分も思っていることを伝えたい、流ちょうに同年代の子と話したい」という思いから一層英語の勉強をしたいと考えるようになりました。

滞在中、私が一番心に残っていることは小学校を訪ねたことです。親善使節による学校訪問は協会の方にとっても初めての試みだったようで、私達も緊張していましたが、子ども達に会うことは楽しみでもありました。小学校では豊中市のマチカネワニの本を読みました。最初は私達が来たことに興奮してとてもにぎやかでしたが、本を読み出すと集中して聞いてくれ、とても嬉しかったです。その時の子ども達の真剣な目は忘れられません。また、本を読み終わると、たくさん質問をしてくれて、その元気の良さにたくさんのパワーをもらいました。

アメリカではたくさんの方にお世話になりましたが、特に協会の方とホストファミリーには感謝してもしきれません。空港での出迎えから、ずっと私達と行動を共にし、見送りにも来てくれたことに、心から感謝しています。お別れのとき、陽子アンダーソンさんが「いってらっしゃい」と言ってくださったことが印象的で、「いってらっしゃい」は「また帰って来てね」という言葉が含まれていると聞きました。私は必ずまたサンマテオに行きたいと思います。



当協会会員の永原武敏さんが昨年につき、サンマテオ市を訪問されました。



2012年8月、私は再びサンマテオ市を訪問しました。昨年寄贈した日本庭園のバラの様子とサンマテオ市職員との交流、学校での絵本の読み聞かせ教室の支援、公共施設の視察を目的とした親善訪問でした。

現地では、親善使節として姉妹都市協会から派遣された高校生、山本悠馬さんと上田紗有佳さんとともにサンマテオ市長を表敬訪問したほか、彼らが議会で英語スピーチを発表した様子を見学しました。また、親善使節のホームステイ先であるシモンズ家やボーデン家、2012年5月に豊中市を訪問したサンマテオ市職員のエバンさん、上下水道・都市計画部の職員など様々な人々と交流しました。とくに、シムズ教育長やパークサイド小学校・ベイサイド中学校の先生や子どもたちとの交流は、学校間での交流の推進を期待するところでした。

グロット市長をはじめとするサンマテオ市関係者の皆さんには大変お世話になりました。とくに終始、労を惜みず親切にいただいたリム副市長とオールズ秘書長、姉妹都市協会の陽子アンダーソンさん、ジョージ・ムサンテさん、キャロリン・シャベルさんに深く感謝します。

最後に、2013年にサンマテオ市で開催される姉妹都市提携50周年記念式典が大盛会となるよう祈念しております。



第41回 高校生英語弁論大会

The Annual English Speech Contest

2013年1月26日(土)、豊中・サンマテオ姉妹都市協会主催の「第41回高校生英語弁論大会」がとよなか国際交流センターで開催され、7校14人の高校生の皆さんが参加しました。



賞	受賞者	高校名	演題
豊中市長賞	納 茜	箕面高等学校	怖がらないで Don't Be Afraid
サンマテオ市長賞	竹歳 三優	大商学園高等学校	素晴らしい英語の先生に成りたい I Want to Be a Great English Teacher
国際ソロプチミスト特別賞 [※]	三浦 恵海	梅花高等学校	自分の目で見るとのこと Seeing Things With Your Own Eyes
優秀賞	山口 瑞貴	神戸女学院高等学部	地球市民になろう We Are Global Citizens
優秀賞	中道 小夏	箕面高等学校	大切なのは伝えること The Most Important Ability Is Communication

※ 国際ソロプチミスト豊中-千里協賛。

豊中市長賞の納さんは、今までは叱られることを恐れていたが、アルバイトでの経験を通じて、叱られることの大切さを学び、叱られる不安ではなく自分自身が改善することへの期待を持って生きたいと語りました。

サンマテオ市長賞の竹歳さんは、オーストラリアへの留学がきっかけで最初は苦手だった英語を一生懸命勉強し、英語が大好きになったこと、そして将来は母校の英語の先生になりたいという夢を語りました。

国際ソロプチミスト特別賞の三浦さんは、東北大震災で被災した宮城県の親せきのもとを訪れた際に、甚大な被害を受けながらも笑顔で気丈に生きる人々の生活を目のあたりにし、自分自身で実際に物事を見ることの大切さを知るとともに、改めて被災地へ心向けたいと語りました。

審査員は千里金蘭大学教授のジュディ・ガーナントさん、大阪女学院大学教授のブライアン・ティーマンさん、大阪女学院大学准教授のウィリアム・クラインさん、当協会監事の川合隆子さんの4人をお願いしました。

Congratulations



大会終了後、審査員からは「自分自身の身近な話題や社会的な話題、自分の将来を見据えたものなど多岐にわたる発表内容で、優れていた。緊張して声が小さかったり、言葉に詰まったりしたところは残念だが、内容的には差がなかった。入賞した人もそうでなかった人も、またチャレンジしてほしい」との講評をいただきました。

なお、豊中市長賞受賞の納さんとサンマテオ市長賞受賞の竹歳さんは親善使節として、2013年8月に約1週間サンマテオ市へ派遣され、姉妹都市提携50周年記念式典のほか、現地の人々との様々な交流活動に参加する予定です。

また、高校生の発表後、審査結果発表までの時間を利用して「中学生英語スピーチ発表会」を行いました。

中学生による英語スピーチは、若い世代に当協会のことを知ってもらうこと、また英語に慣れ親しんでもらう機会となることを目的として、第39回大会から開催しています。

今回は豊中市立中学校18校に対して募集し、3校より6人の応募がありました。英語に慣れ親しんでもらうことを目的としているため、審査は行いませんでしたが、皆さん緊張しながらもにこやかに、一生懸命発表してくださいました。

発表後、豊中市教育委員会の大源教育長から表彰状が授与され、当協会の國貞会長からは記念品が贈呈されました。

学校名・学年・発表者	演題	学校名・学年・発表者	演題
第五中学校 1年 飯田 美里	My junior high school. 私の通う中学校	第五中学校 1年 西本 翔哉	"About my junior high school." 私の通う中学校
第五中学校 1年 小菅 紀花	My junior high school 私の通う中学校。	第十三中学校 2年 堀田 愛華	one step towards a dream 夢への第一歩
第五中学校 1年 新谷 真由	About my junior high school. 私の中学校について	第八中学校 1年 山下 絵梨奈	My school 私の学校



David Lim

市長：デイヴィッド・リム



Robert Ross

副市長：ロバート・ロス

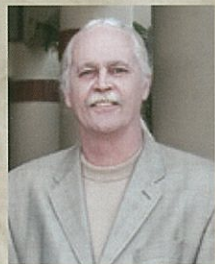


Maureen Freschet

議員：モーリーン・フレシェット

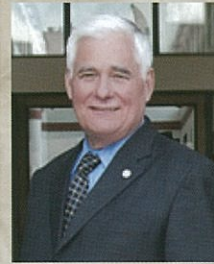
新市長は
デイヴィッド・リムさん

2012年12月にサンマテオ市議会の
改選があり、新市長は
デイヴィッド・リムさんに決定しました。



Brandt Grotte

議員：ブランド・グロット



Jack Matthews

議員：ジャック・マシューズ

◆米国サンマテオ市姉妹都市協会会長 ダニエル・ハリス Daniel Harris

2013年度の予定

- 1 姉妹都市提携 50 周年記念事業
 - 姉妹都市提携 50 周年記念訪問団のサンマテオ市親善訪問(8月15日～22日)
 - 姉妹都市提携 50 周年記念式典(8月16日)
 - 姉妹都市提携 50 周年記念パネル展の開催(10月)
- 2 第 41 回高校生英語弁論大会成績優秀者 2 人のサンマテオ市派遣(8月15日～22日)
 - 派遣者：豊中市長賞……………納 茜さん
サンマテオ市長賞…竹歳 三優さん
- 3 サンマテオ市親善使節の受入れ(7月14日～26日)
- 4 第42回高校生英語弁論大会の開催(2014年1月25日)
- 5 広報活動の推進
 - 姉妹都市提携ニュース(第43号)の発行
- 6 その他協会の目標達成のために必要な活動